

意見提出者	個人
-------	----

1. 項目	—
2. 既存の制度・規制等によってICT利活用が阻害されている事例・状況	<p>標記パブリックコメントに対する意見を述べます。</p> <p>そもそも「光の道」構想の詳細がよく分からないのですが、私は従来からNTTのフレッツ光サービスを利用しています。加入のきっかけは、大阪の大手家電量販店でフレッツ加入でPCが安くなるといった施策？で、ちょうどADSLから速度アップしたかったので、タイミングが良かったのもあります。</p>
3. ICT利活用を阻害する制度・規制等の根拠	<p>一方で、NTTだけがそのような施策をしている訳ではなく、関西エリアでは関電グループのケイオプティコムも大々的にセット販売しています。</p> <p>そもそもブロードバンド環境が必要な利用者は、各社の多様なサービス等を比較して料金的にシミュレーションもして加入の意思決定をしているもので、「光の道」構想で利用の意思がない家庭や企業まで一律に光ファイバを引くのは、受益者負担の観点からそぐわないと思います。</p> <p>(先に加入した人と国策でタダ？で加入できる人に差が生じるのは納得いかない)</p>
4. ICT利活用を阻害する制度・規制等の見直しの方向性についての提案	<p>利用者も学習しているので、各キャリアも切磋琢磨することで受益者にとって、豊富なアプリケーションも創出されるのでは。</p> <p>雑誌日経コミュニケーションでも特集されていましたが、NTTグループだけ、固定と携帯が一体的にサービスできていない(これこそ規制だと思いますが)ことが、豊富なアプリケーションの出現を阻害しているとも思います。</p> <p>私は携帯もNTTドコモを利用していますが、料金がフレッツと個別に手続きしなければならないことも不便を感じます。</p> <p>光の道構想を取り巻く関係者のヒアリングでも、そもそも孫社長は国費を使って光を引き、それを使ってサービスを提供し儲けるといったビジネス感覚が見え隠れしており、決して国民の目線に立った議論ができてないのでは。</p> <p>よって、「光の道」構想には断固反対します。</p>